

## 保育に関する評価

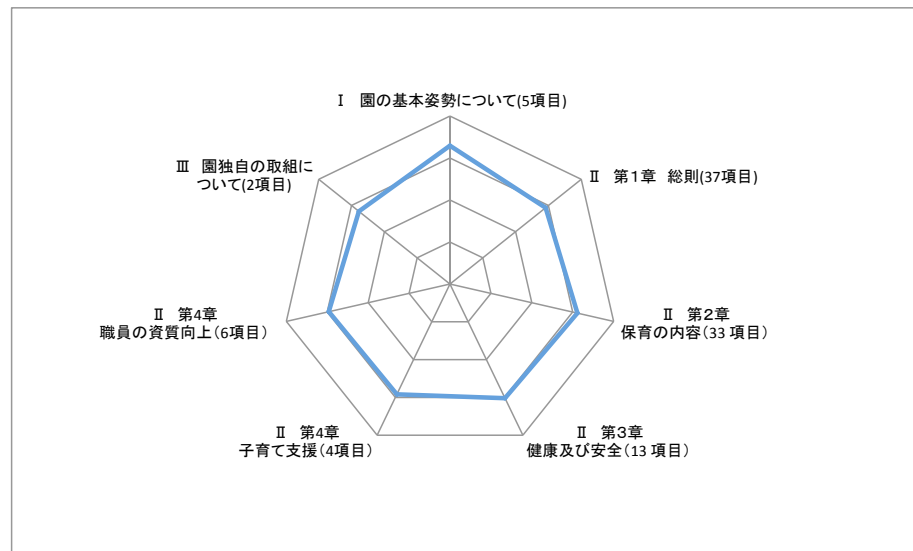
## キッズラディ

### <評価方法>

十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×

評価	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	10	25	9	0
II 第1章 総則(37項目)	54	152	116	4
第2章 保育の内容(33項目)	61	137	98	1
第3章 健康及び安全(13項目)	19	60	35	1
第4章 子育て支援(4項目)	9	9	18	0
第5章 職員の資質向上(6項目)	8	26	20	0
III 園独自の取組について(2項目)	2	8	8	0

### レーダー



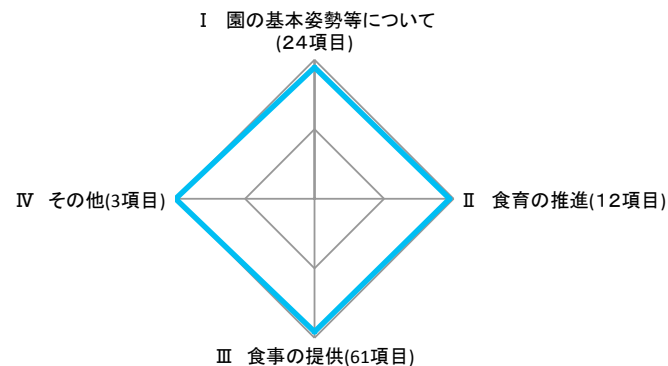
## 食育・食事の提供等に関する自己評価

## キッズラディ

### <評価方法>

理解し実施している…◎3点 一部実施している…○2点 不安がある…▲1点 実施していない…×

食育 食事 評価	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢等について(24項目)	21	2	1	0
II 食育の推進(12項目)	11	1	0	0
III 食事の提供(61項目)	56	3	1	0
IV その他(3項目)	3	0	0	0



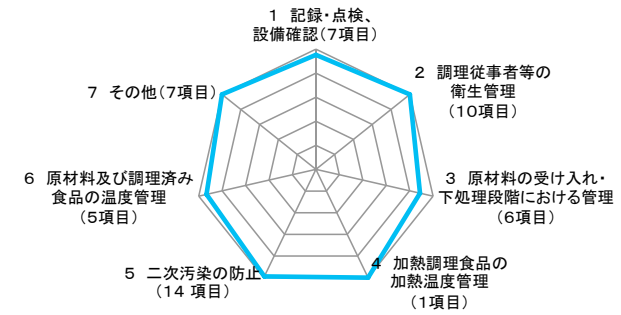
## 衛生管理自己評価

## キッズラディ

### <評価方法>

理解し実施している…◎3点 一部実施している…○2点 不安がある…▲1点 実施していない…×

衛生管理 評価	◎	○	▲	×
1 記録・点検、設備確認(7項目)	12	2	0	0
2 調理従事者等の衛生管理(10項目)	20	0	0	0
3 原材料の受け入れ・下処理段階における管理(6項目)	10	0	2	0
4 加熱調理食品の加熱温度管理(1項目)	2	0	0	0
5 二次汚染の防止(14項目)	27	1	0	0
6 原材料及び調理済み食品の温度管理(5項目)	8	2	0	0
7 その他(7項目)	14	0	0	0



	今年度の評価点	今年度の課題点	次年度の改善点
各 リ ー ダ ー の 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画に基づき、ねらいや目標を明確にした書類作成を行うことができた。また、子ども一人ひとりの発達に応じた援助を意識し、個々に寄り添った保育の実践に努めた。</li> <li>さらに、他学年との連携を積極的に図り、情報共有や共通理解を深めることで、園全体として一貫性のある保育を行うことができた。</li> <li>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を常に念頭に置きながら、子どもたちの自主性を尊重し、一人ひとりの思いや育ちに配慮した保育を展開することができた。</li> <li>リーダーとして職員間の調整や方向性の共有を意識しチームとしての保育の質向上に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修への参加や他園との交流については、一定の取り組みを行うことができたが、その学びを園全体へ十分に還元し、組織としての資質向上につなげる点に課題が残った。</li> <li>クラス運営の充実を図るためにクラス会議を定期的実施し、クラス内での情報共有や話し合いは充実してきた一方で、園全体に関わる課題の共有や園内研修の実施については十分に行うことができなかった。</li> <li>日々の保育業務に追われる中で、子ども一人ひとりへの関わりや保護者対応において、丁寧さを欠いてしまう場面も見られた。</li> <li>今後は、業務の見直しと役割分担の工夫を図りながら、園全体での学びの機会を充実させるとともに、余裕を持った保育の実践と丁寧な対応を意識していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度は、引き続き職員間の風通しの良い職場づくりを意識し、互いに意見交換がしやすい環境の整備に努めていく。日常的なコミュニケーションの充実を図り、安心して意見を出し合える関係性の構築を目指す。</li> <li>研修や他園との交流に対して、より意欲的・積極的に参加し、そこで得た知見を保育の質向上および園全体の運営に還元できるよう努めていく。</li> <li>見聞を広げることを目的に外部研修への参加を継続するとともに、学びを園内で共有するための研修発表の機会を設け、職員間の共通理解を深めていきたい。</li> <li>外部研修に限らず園内研修にも積極的に取り組み、職員同士や園全体で保育について話し合う機会を意図的に増やすことで、組織としての専門性の向上と保育の質の底上げを図っていく。</li> </ul>
園 長 の 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>書類作成においては、リーダーや主任が中心となり、園の方針および保育指針に基づいた計画立</li> <li>作成を主体的に行う体制を構築することができた。園長として役割の委任と全体の方向性の共有を図ることで、組織としての機能向上につなげることができた。</li> <li>職員育成に重点を置き、トップダウンによる運営に偏るのではなく、リーダーや主任を中心とした主体的な関わりを促すことで、クラス運営や行事等において職員同士が支え合う風土を醸成し、園全体の活性化を図ることができた。</li> <li>連携園との合同プールなど既存の交流にとどまらず、他園との新たな関わりについても積極的に企画・運営を行い、子どもたちの経験の幅を広げるとともに、園の対外的な連携強化にも寄与することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の外部研修については、継続的に受講できる体制が整いつつある一定の成果が見られた一方で、園内研修については計画的かつ継続的な実施が十分に行えず、学びを組織全体で共有・深化させる点に課題が残った。</li> <li>新規採用職員の定着率について課題があり、丁寧に育成を行っても継続的な雇用につながらない状況が見られた。職場環境や育成体制、フォローの在り方を含め早急に改善策を講じる必要がある。</li> <li>SNSの導入など新たな取り組みに着手したものの、日々の業務に追われる中で十分な運用体制を確立することができず、発信の継続性や即時性に課題が生じた。</li> <li>今後は、園内研修の体系化と実施体制の見直し、職員の定着に向けた環境整備と支援の強化、並びに新たな取り組みを継続的に運用できる体制づくりが求められる。</li> <li>園としては初めての第三者評価を受審したが、していないことやできていないことなど多くの課題が見つかった。この受審を機の一つずつすべきことをこなしていきたいと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度は、園内研修を計画的かつ継続的に実施し、職員一人ひとりの理解を深めるとともに、園全体としての方向性や意識の統一を図っている。</li> <li>職員間の連携を一層強化し、組織としての一体感を高めたい。</li> <li>クラス会議をはじめ、乳児・幼児別の会議、リーダー会議、理事長会議など、それぞれの目的を明確にした会議を定期的実施し、情報共有と意思疎通の充実を図ることで、より円滑な園運営につなげていく。</li> <li>引き続き風通しの良い職場環境づくりを推進し、職員が安心して意見を発信できる関係性の構築に努める。日常的なコミュニケーションの質を高めることで、働きやすさの向上を目指す。</li> <li>各種マニュアルの見直しやルールの改訂・周知を徹底し、業務の標準化と効率化を図ることで、職員が安心して働ける環境を整備する。</li> <li>今後は、これらの取り組みを通して園のさらなる発展を見据え、中長期的な視点を持ちながら安定した運営と保育の質の向上に尽力していく。</li> </ul>